

Stylish Furniture

MiSEL

スタイリッシュファニチャー ミセル

奥行き600mm床置ユニット ハンガーパイプ

このたびは、「DAIKEN製品」をご採用いただきありがとうございます。



施工業者様へ

弊社では、お施様が製品を安全に正しくご使用いただくための
のお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱
説明書」を添付しております。

必ず、取扱説明書をお施様に手渡し、使用方法を説明してい
ただきますようお願いいたします。

※取扱説明書は下記のURLからダウンロードできます。
<https://www.daiken.jp/qr/manual/>



もくじ

施工説明書

1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと) … 1
2. 床置ユニットの組立て …… 2
3. ハンガーパイプの組立て …… 9

- 本製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工してください。
- この説明書に出てくる❗️、Ⓜ️マークや「お願い」は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。

■ 施工の際は以下の工具をご用意ください。

- 電動ドリル (⊕2番ビット)
※インパクトドライバーは金具の破損やユニットの破損につながるおそれがあるため、使用しないでください。
- 手回しドライバー ・ ゴムハンマー ・ 水準器
- コンベックス等測定定規 ・ クランプ (万力など)




※左記のマークがある場合は、
電動ドリルを使用しないでください。


1

安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)


この製品をお施主様が末永く安全に使えるように、またトラブルなく確実な施工をするために、以下のことを必ず守ってください。


警告表示の種類と内容


	警告	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容
--	-----------	-------------------------------

	注意	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容
---	-----------	---------------------------------


本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

	してはいけない内容です
--	-------------


	必ず実行していただく内容です
---	----------------

	留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法など
---	-----------------------


警告


 製品を設置する際は、床の不陸などを確認し、水平面に設置してください。

水平でない床の上に設置すると、製品が倒れたりして、けがをするおそれがあります。

 製品を壁面に固定する際は、指定されたビスと本数で確実に固定してください。


指定外のビスを使ったり、本数が少ないと、製品が外れたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

 製品に足や腰を掛けたり、乗ったりしないでください。落下や破損して、けがをする原因になります。

 ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。

製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

注意

 この製品は、一般住宅向け室内用です。他の用途に使用したり、水に濡らさないでください。


屋外での使用や水濡れは、変色や変形、ショート・感電の原因になります。

 施工時の製品の取扱いにご注意ください。

本製品は木質製品ですので、落下や衝突により、傷や凹みがつくおそれがあります。

 施工作业は、必ず2人以上でおこなってください。


1人で作業を行うと、思わぬ事故のおそれがあります。

 製品を立て掛けたり、不安定な場所に置いたりしないでください。

製品が倒れてけがをしたり、製品が傷ついたり、反りが発生したりする原因になります。

 製品の分解や改造をしないでください。

施工時に製品の形状を変えるような加工などをされた場合は、品質保証責任を負いかねます。

 壁面固定する際、ユニットが3°以上傾いた状態のまま固定しないでください。

耐震ロックなどの機能が正常に発揮されない原因になります。

お願い

- 養生テープを製品に直接貼付けないでください。表面化粧がはがれたり、接着剤が残ることがあります。

2 床置ユニットの組立て

組立ての流れは以下のページをご覧ください。

- 1 準備 5
- 2 組立て 6
- 3 配線のしかた 9

施工の際は、以下の工具をご用意ください。

- ⊕ドライバー (No.2)
- 電動ドリル (インパクトドライバーは不可)
- ゴムハンマー

- 接着剤 (付属品)



※左記のマークがある場合は、電動ドリルを使用しないでください。


◻施工上のご注意

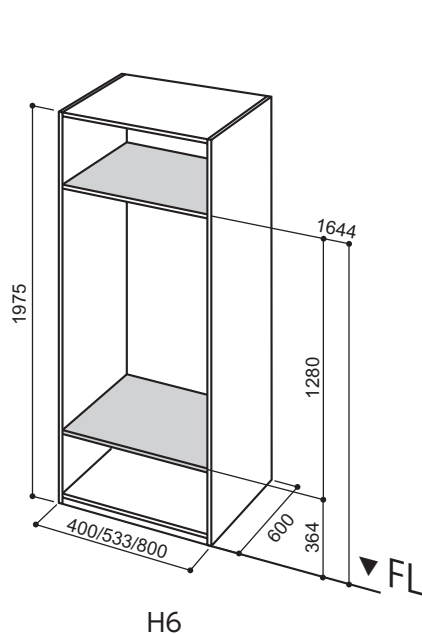
- ユニットの組立てるときは、床の上に直接部材を置かないでください。
- 養生材または梱包材の上に、ビスや釘などが落ちていないか確認してから作業してください。製品または床材にキズがつくおそれがあります。

■ 固定棚について

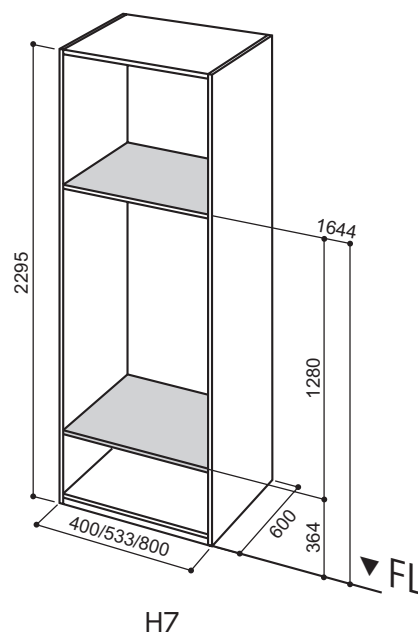
高さ (段数) による違いが2種類 (下図のH6とH7) あります。

サイズと固定棚の位置と枚数を確認してください。

-  部は固定棚取付位置を表しています。
- 扉を取付ける場合は、扉の上下端に棚板を配置してください。



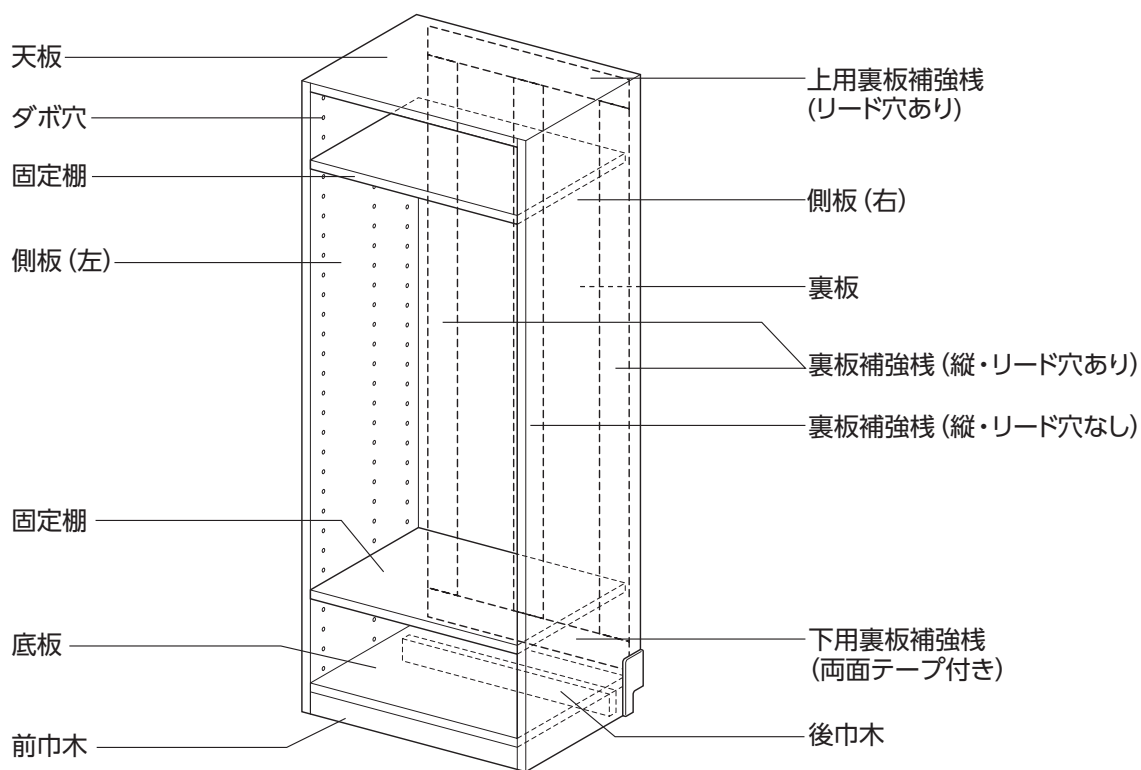
H6



H7

2 床置ユニットの組立て

■ 主な名称



■ 梱包品番

梱包品番を確認してください。

垂直部材と水平部材を分けて梱包しています。

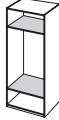
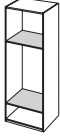
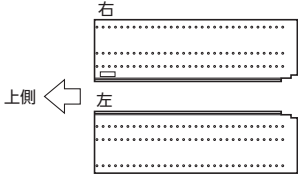


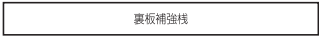

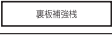
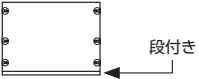
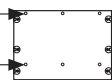
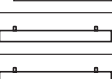
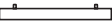
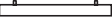








■には、ユニットカラー番号 (1:ブラック / 2:ホワイト) が入ります。

幅	奥行 高さ	D600	
		H6	H7
W400	垂直部材	FLJ14-K163■	FLJ14-K173■
	水平部材	FLJ15-K13■	FLJ15-K13■
W533	垂直部材	FLJ14-K263■	FLJ14-K273■
	水平部材	FLJ15-K23■	FLJ15-K23■
W800	垂直部材	FLJ14-K363■	FLJ14-K373■
	水平部材	FLJ15-K33■	FLJ15-K33■

2 床置ユニットの組立て

構成部品

部材の種類と数量、状態を確認してください。

高さ(段数)と外観図		H6	H7
			
部品の種類と特長			
垂直部材	側板 	左右各1	左右各1
	裏板 	1	1
	裏板補強棧(縦・穴あり) 	2	2
	裏板補強棧(縦・穴なし) 両面テープ付き  裏板補強棧	1	1
	上用裏板補強棧 下穴付き  裏板補強棧	1	1
	下用裏板補強棧 両面テープ付き  裏板補強棧	1	1
水平部材	天板 	1	1
	底板 前巾木用ダボ穴  後巾木用ダボ穴 	1	1
	前巾木 	1	1
	後巾木 	1	1
	固定棚 	2	2
締結部材など(個装袋入り)	巾木避けカバー 左用 (Lの刻印)  右用 (Rの刻印) 	左右各1	左右各1
	組立用ピン(天板・底板・固定棚) 	24	24
	連結ビス・連結キャップ・連結ワッシャー(φ4用)  φ3.8×28	6セット	6セット
	壁固定ビス・連結キャップ・連結ワッシャー(φ4用)  φ3.8×51	6セット	6セット
	補強棧固定ビス  L=35	17	17
	接着剤  ※巾木と底板、側板と裏板を接着します	1	1

2 床置ユニットの組立て

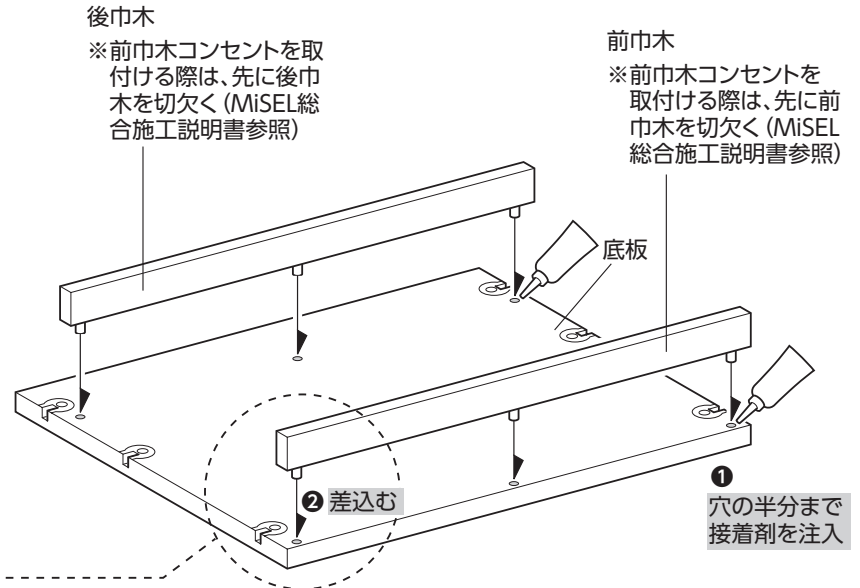
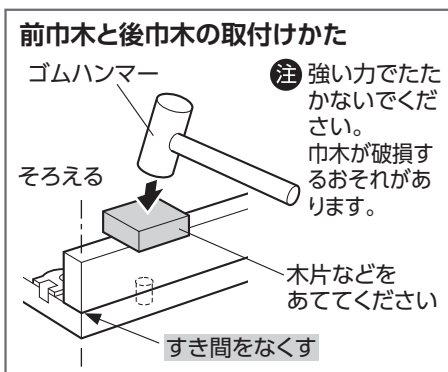
1 準備

図中の丸数字 (①など) は、手順を表しています。

1 底板の準備

※前巾木に前巾木コンセントを取付ける際は、MiSEL総合施工説明書を参照して、先に前巾木と後巾木を切欠いてください。

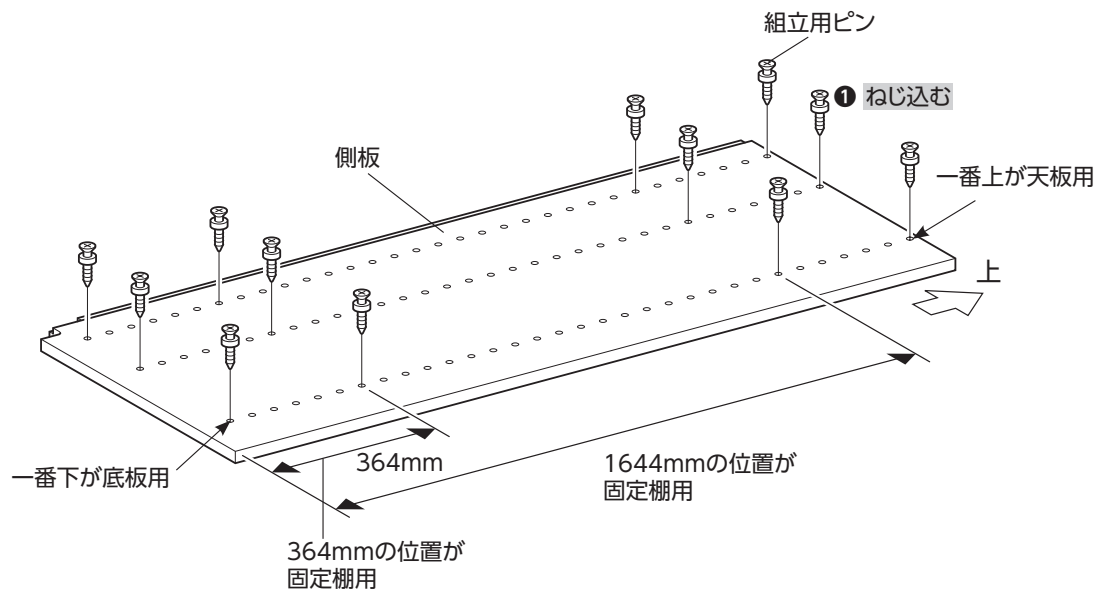
- ① 底板裏面に接着剤を注入する。
- ② 前巾木と後巾木を底板に差し込み、確実に取付ける。



2 側板の準備

※図は側板 (右) です。
側板 (左) も同じ要領です。

- ① 側板の図の位置に組立用ピンをねじ込む。

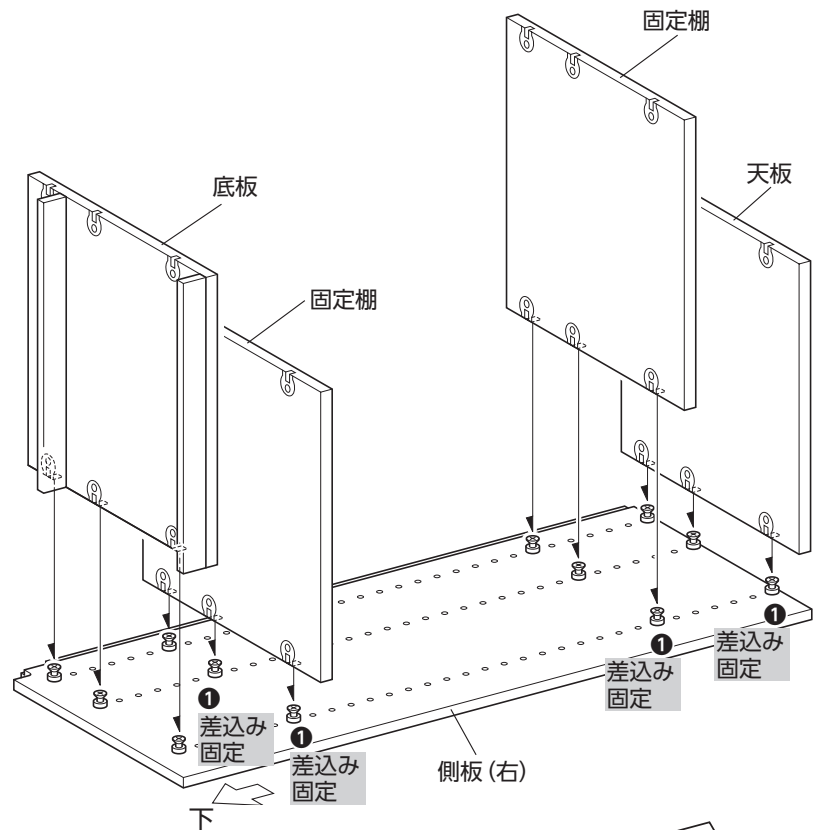
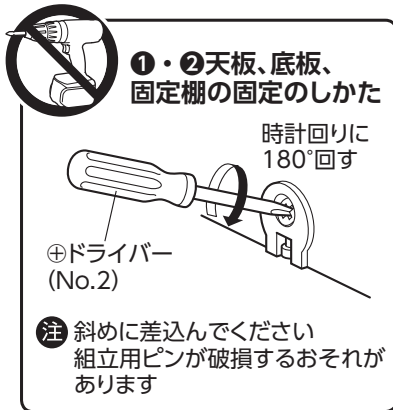


2 組立て

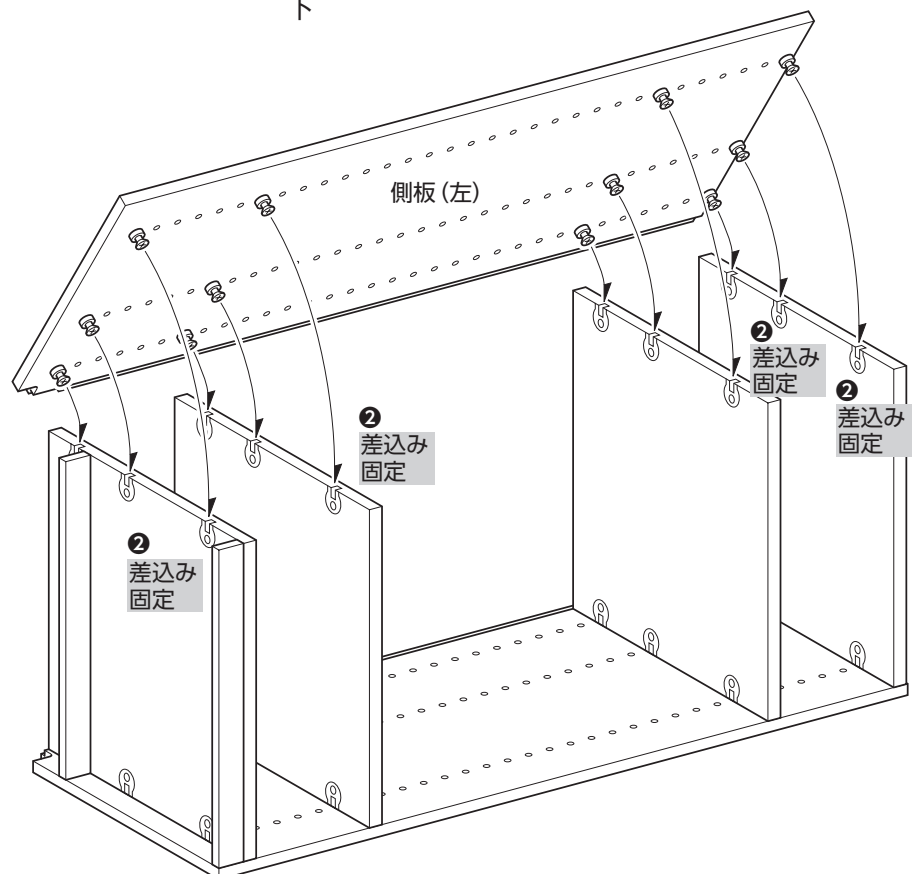
図中の丸数字 (❶など) は、手順を表しています。

1 ユニット本体の組立て

- ❶ 底板、天板、固定棚を側板(右)に差し込み、固定する。



- ❷ 側板(左)を底板、天板、固定棚に差し込み、固定する。



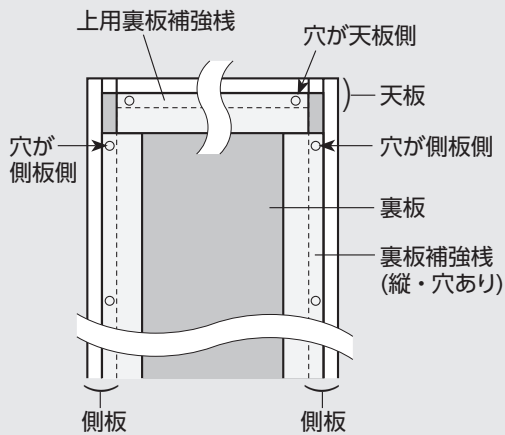
2 床置ユニットの組立て

2 裏板と裏板補強棧の取付け

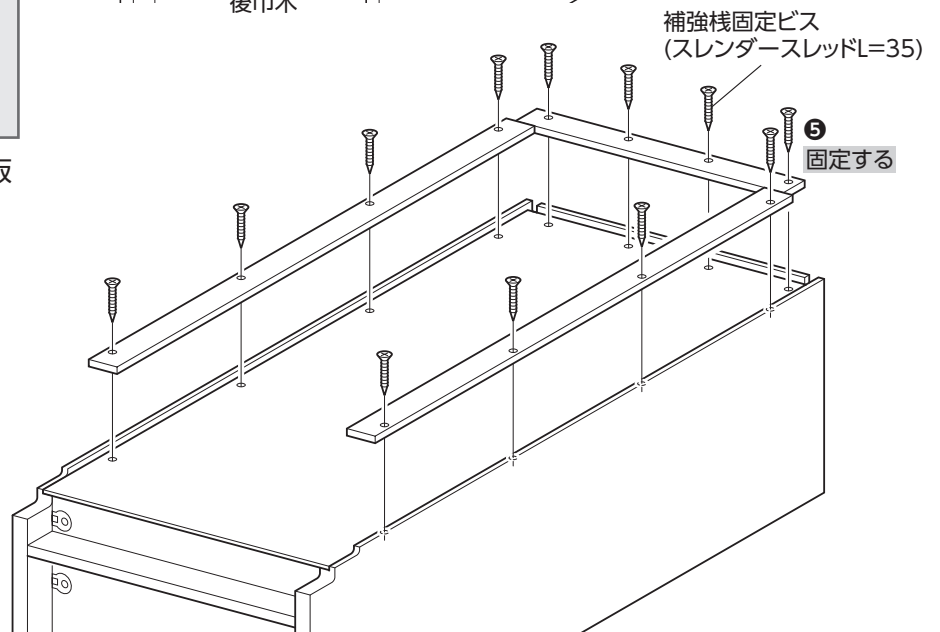
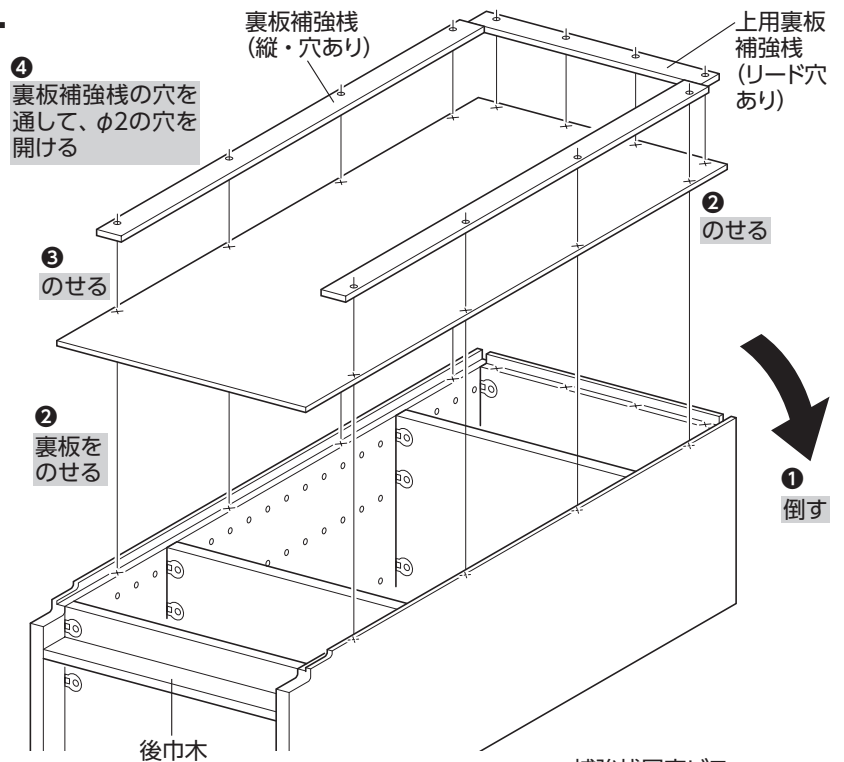
- ① 後巾木が上になるように、本体を倒す。
- ② 裏板を側板と天板にのせる。
- ③ 上用裏板補強棧 (リード穴あり) と裏板補強棧 (縦・リード穴あり) を裏板にのせる。

◆施工上のご注意

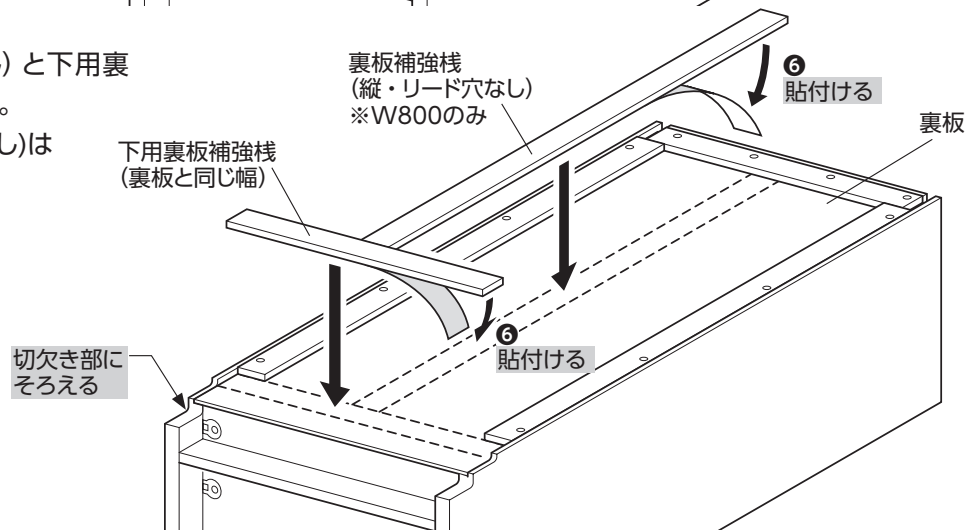
裏板補強棧どうしの位置と穴位置を確認してください。



- ④ 裏板補強棧の穴を通して、φ2の穴を裏板と天板、側板に開ける。
- ⑤ 裏板補強棧を、ビスで固定する。



- ⑥ 裏板補強棧 (縦・リード穴なし) と下用裏板補強棧をユニットに貼付ける。
※ 裏板補強棧(縦・リード穴なし)は W800のみです。



2 床置ユニットの組立て

3 巾木避けカバーの取付け

設置する壁面に巾木があるかを確認してください。

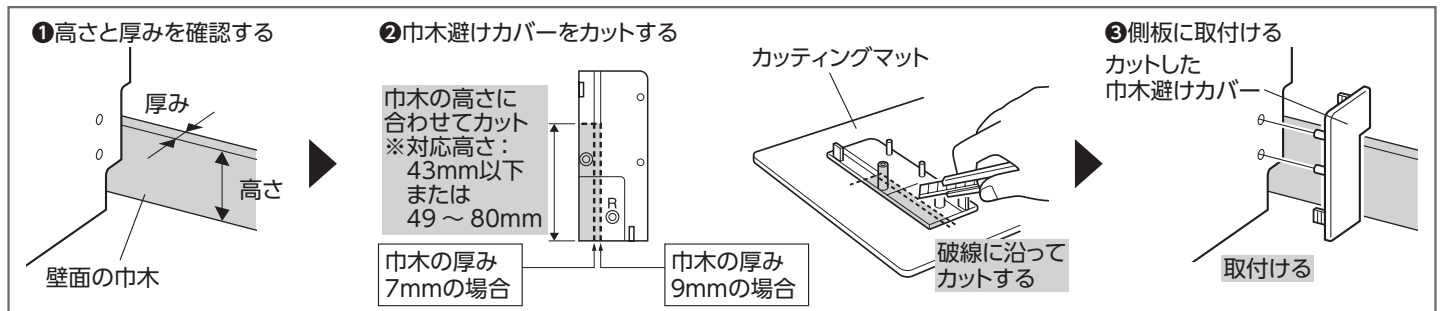
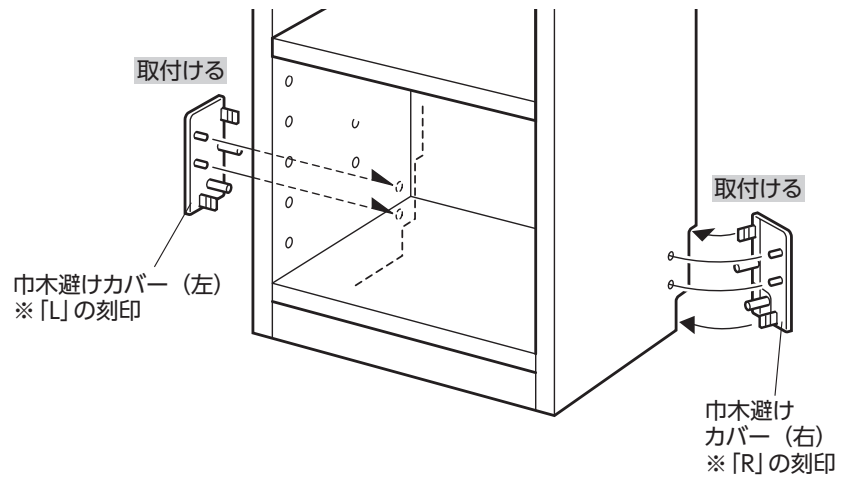
〈壁面に巾木がない場合〉

巾木避けカバーを側板に取付ける。

※カバーの裏面に、右用は「R」、左用は「L」の刻印があります。

〈壁面に巾木がある場合〉

- ① 壁面の巾木の高さと厚みを確認する。
- ② 巾木避けカバーをカッティングマットにのせ、巾木の高さと厚みに合わせてカットする。
- ③ 巾木避けカバーを側板に取付ける。



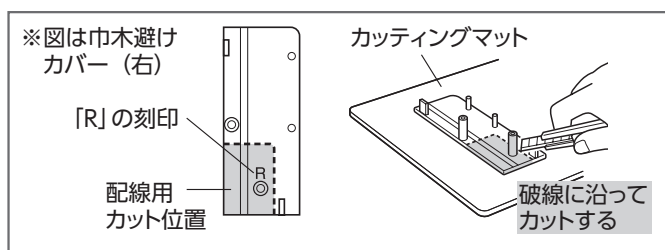
2 床置ユニットの組立て

3 配線のしかた

ユニット本体にのせる機器類の配線コードは、図のように配線してください。

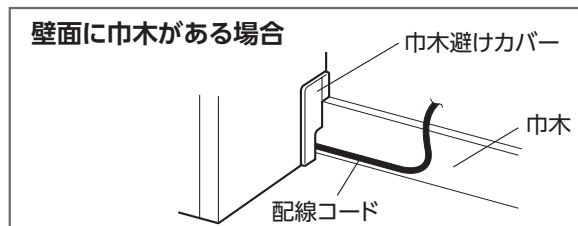
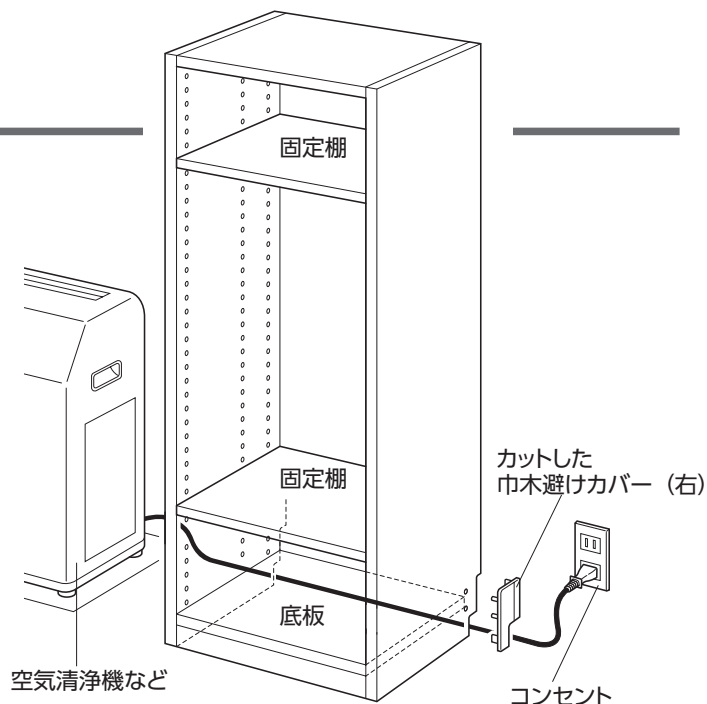
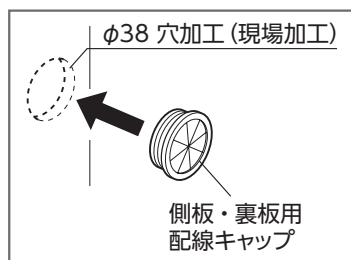
〈巾木避けカバーを配線用にカットする〉

巾木避けカバーの溝に沿ってカットしてください (P.8「3 巾木避けカバーの取付け」を参照)。



〈底板以外で配線する〉

側板にφ38の貫通穴を開け、別売の配線キャップ (FLK741-■) を取付けて配線してください。
※配線穴は、棚板に干渉しない位置であれば側板のどの位置でも開けられます。



3 ハンガーパイプの組立て

構成部品

部材の種類と数量、状態を確認してください。 ※ハンガーパイプは、D600床置ユニット本体とは別品番・別梱包です。

		種類と外観図	W400用・W533用・W800用
部品の種類			
本体	ハンガーパイプ		1
	ベース金具		2
	カバーキャップ		4
スライドレール	パイプ受け		2
	転落防止キャップ		2
締結部材など[個装袋入り]	ベース金具取付ビス(トラスビス M4×14)		4

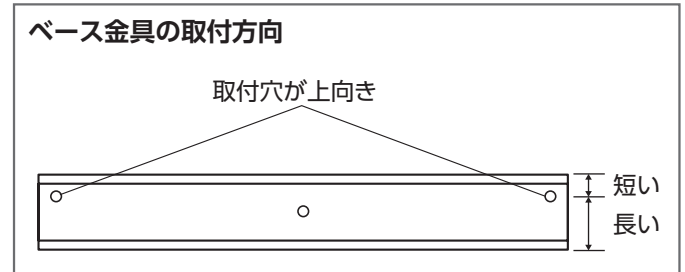
3 ハンガーパイプの組立て

ハンガーパイプの組立て

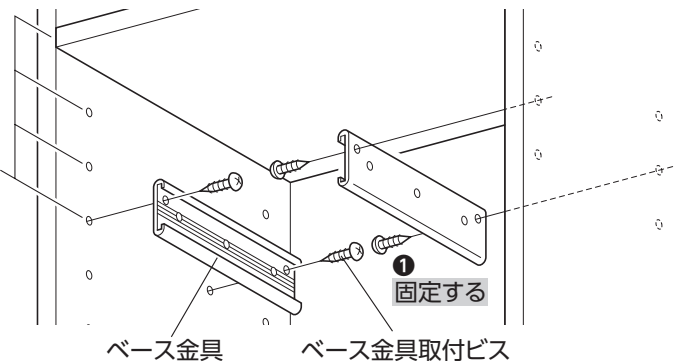
図中の丸数字 (❶など) は、手順を表しています。

1 ベース金具の取付け

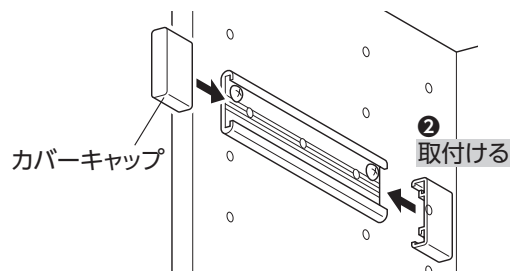
- ❶ ベース金具を、ユニット側のダボ穴にビスで固定する。
※取付穴が上向きになるように取付けてください。



固定棚から2つ以上ダボ穴をあけてください。
扉(丁番)をつける場合は3つ以上あけてください。

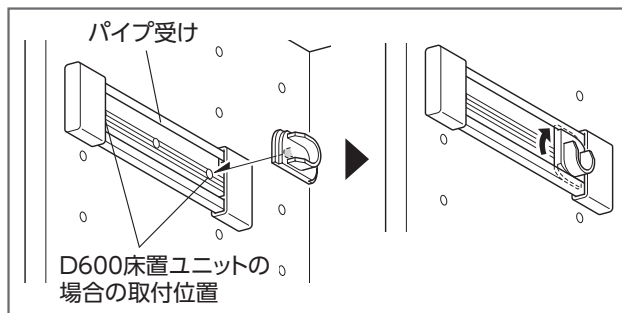


- ❷ カバーキャップをベース金具の左右に取付ける。

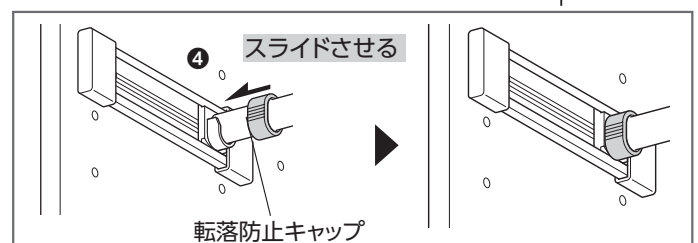
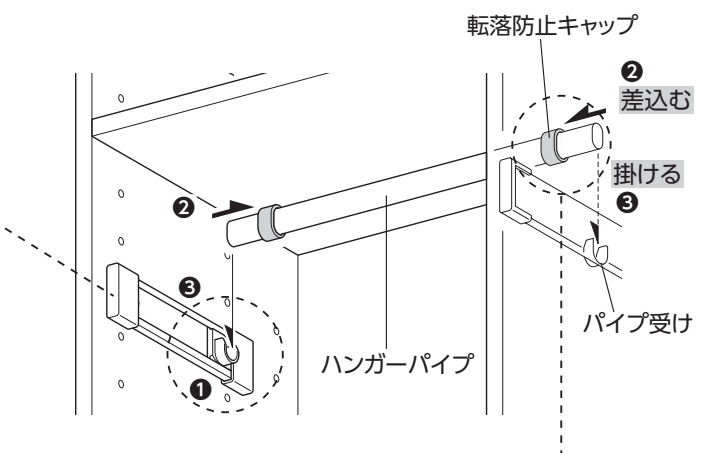


2 ハンガーパイプの取付け

- ❶ パイプ受けをベース金具に取付ける。



- ❷ 転落防止キャップをハンガーパイプに差込む。
- ❸ ハンガーパイプをパイプ受けに掛ける。
- ❹ 転落防止キャップをスライドさせ、パイプ受けに取付ける。



DAIKEN製品の品質保証について

弊社では、下記対象製品について、「保証期間一覧表」に示す期間、保証事項に記す内容に基づき、無料で修理させていただきます。

保証期間経過後の修理については有料となります。

■対象製品

スタイリッシュファニチャー ミセル
D600床置ユニット/ハンガーパイプ

■保証事項

通常的环境下にて、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間一覧表参照）を無料で修理します。

なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。

※修理とは、壊れたり傷んだりした部分に手を加えて、再び使用できるようにすること。

（原則、新品交換は含みません）

■保証期間

弊社製品の施工完了後、または物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で修理する期間としております。（保証期間一覧表参照）
保証期間経過後の修理については有料となります。

保証期間一覧表

保証事項	保証事項		保証期間	
	保証箇所	保証対象となる不具合現象	起算時期 ^{※2}	
使用上の著しい ^{※1} 支障が生じないこと	扉、引出し、本体	作動不良（故障）	引渡後	2年
外観上の著しい変形・変質が生じないこと		変形、変質（反り、ハガレ、クラック）		

※1:「著しい」の定義

正常な施工・使用状態のもとで経過時間を考慮し、客観的に見て通常の状態から逸脱している度合いが極めて大きいことをいいます。

※2:保証期間起算時期について

保証事項が“使用”に係るものについては、保証期間を“物件引渡後”から起算します。それ以外のものについては、“当該製品施工完了後”から起算します。

■免責事項

・製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外となります。

- 1) 建物の設計・施工に起因する不具合
- 2) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- 3) 自然現象・周辺環境など（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れまたはその他の不具合
- 4) 室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取付けられたことに起因する不具合
- 5) 極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取付けられたことに起因する不具合
- 6) 建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- 7) 入居者または第三者の不適切な使用または維持管理などに起因する不具合
- 8) 取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- 9) 経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- 10) 用途外に使用された場合の故障および損害（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合など）
- 11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキウイムシなどの虫害に起因する不具合
- 12) 仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
- 13) 保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- 14) 製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する不具合
- 15) 離島などの遠隔地への出張を要する修理をおこなう場合、出張に要する実費
- 16) その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

※1:火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

ユーザー登録サービス

製品を末永く安全にご使用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。

ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



お問い合わせ窓口について

●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター

☎0120-787-505
(フリーダイヤル)

●受付時間…平日9:00～17:00

(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています)

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで
写真も
送ることが
できます。



修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ

部品のネット販売サイトです。

※購入に際しては登録が必要です。

<https://www.daiken.jp/qr/service/>

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶

▶▶▶ DAIKENパーツショップ



ご相談窓口における
個人情報のお取扱い

DAIKEN株式会社およびDAIKENグループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（DAIKEN株式会社プライバシーポリシーに關しましては、当社ホームページに掲載しております。）なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

DAIKEN株式会社

DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>

発行

2025年9月